

	12月3日から9日は障害者週間 美術館で「障害者ふれあい作品展」を開催
と き	12月11日(水)～15日(日) 午前10時～午後6時(15日は午後3時まで)
ところ	練馬区立美術館(貫井1-36-16) ※入場無料

11日から、練馬区立美術館で「障害者ふれあい作品展」を開催した。

障害のある人たちのアートが注目されるようになり、練馬区も障害者の創作意欲の向上と社会活動への参加促進を目的に、「障害者ふれあい作品展」を平成23年度に初めて開催し、今年が3回目となる。昨年、一昨年とも期間中に約700名の方が来場した。

区内の障害者施設利用者がそれぞれの感性で手がけた、多彩な表現で個性あふれる絵画や陶芸など、160点を超える作品を展示。

「僕の思い出」の作者、百瀬 賢太郎(ももせ けんたろう)さんは『ステキな思い出ありがとう!』という気持ちで制作した」と明るく話した。

作品を見ていた女性は「作品ひとつひとつに作者の思い入れを感じました。見ていて元気になれる作品ばかりでした。」と話した。

作品展を主催した障害者施策推進課は、「発表の場を増やすことで創作意欲を高めることにつながれば。多くの人に見ていただきたい」と語っている。



加納智満 作「植物を観察」

【第3回障害者ふれあい作品展】

12月の障害者週間にちなみ、区主催で行われる「障害者ふれあい作品展」は今年で3回目を迎えた。区内の障害者施設の利用者や福祉団体に所属している方々が制作した絵画、陶芸作品などを多数展示する。第1回の作品展ではおよそ140点の作品を展示したが、年々規模も大きくなっており、今年は160点を超える作品を展示する。

会場入り口に設置された、高さ170センチメートルの「やすらぎの杜(もり)2013トーテムポール」は、見応え十分。

12月11日から15日まで開催。入場は無料。



会場の様子

【問い合わせ】

健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課 管理係 電話03-5984-4598